



## カードの設定変更

この章では、Cisco ONS 15454 カードの回線プロビジョニング、スレッシュホールド、サービス状態、および回線レートの変更方法について説明します。

### 準備作業

次の手順を実行する前に、すべてのアラームを調べて、問題をすべて解決しておいてください。必要に応じて、『Cisco ONS 15454 Troubleshooting Guide』を参照してください。

この章では次の NTP (手順) について説明します。適用する DLP (作業) については、各手順を参照してください。

1. 「[NTP-A88 電気回路カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更](#)」 (p.10-2) — すべての電気回路カード (EC-1、DS-1、DS-3、DS3i-N-12、および DS3XM) について回線とスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
2. 「[NTP-A89 光カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更](#)」 (p.10-3) — すべての光カードについて回線とスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
3. 「[NTP-A118 AIC-I カードの設定変更](#)」 (p.10-4) — 外部アラームおよび制御とオーダーワイヤの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
4. 「[NTP-A91 DS-1 および DS-3 保護カードの 1:1 保護から 1:N 保護へのアップグレード](#)」 (p.10-5) — DS-1 カードまたは DS-3 カード上で保護タイプを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
5. 「[NTP-A315 FC\\_MR-4 カードを対象にしたポート設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更](#)」 (p.10-6) — FC\_MR-4 カードのポートとスレッシュホールドの設定を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
6. 「[NTP-A321 カードまたは PPM のサービス状態の変更](#)」 (p.10-7) — カードまたは Pluggable Port Module (PPM) のサービス状態を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
7. 「[NTP-A322 PPM の管理](#)」 (p.10-8) — マルチレート PPM のプロビジョニング、光回線レートの割り当てや変更、および PPM の削除を行う場合は、必要に応じてこの手順を実行します。

## NTP-A88 電気回路カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

|              |   |
|--------------|---|
| 目的           | この手順では、電気回路カードの回線およびスレッシュホールドの設定を変更します。 |
| 工具 / 機器      | なし                                      |
| 事前準備手順       | 「NTP-A17 電気回路カードの取り付け」(p.2-11)          |
| 必須 / 適宜      | 適宜                                      |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート                            |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル                          |



### 注意

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

**ステップ 1** 電気回路カードの設定を変更するノードで、「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79)を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2**へ進みます。

**ステップ 2** 必要に応じて「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6)を行います。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A165 DS1-14 または DS1N-14 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.18-36)
- 「DLP-A166 DS3-12 または DS3N-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.18-40)
- 「DLP-A167 DS3E-12 または DS3N-12E カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.18-44)
- 「DLP-A168 DS3XM-6 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.18-48)
- 「DLP-A387 DS3XM-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.20-104)
- 「DLP-A526 DS3i-N-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.22-26)
- 「DLP-A388 DS3/EC1-48 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.20-109)
- 「DLP-A169 EC1-12 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.18-52)
- 「DLP-A376 DS1/E1-56 カードの回線およびスレッシュホールドの設定変更」(p.20-76)

**ステップ 4** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6)を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A89 光カードを対象にした回線設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | この手順では、光カード（OC-N）の回線およびスレッシュホールドの設定を変更します。 |
| 工具 / 機器      | なし   |
| 事前準備手順       | 「NTP-A16 光カードおよびコネクタの取り付け」(p.2-8)          |
| 必須 / 適宜      | 適宜   |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート                               |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル                             |

**注意**

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

**ステップ 1** OC-N カードの設定を変更するノードで、「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

**ステップ 2** 必要に応じて「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A379 OC-N カードの回線の伝送設定の変更」(p.20-88)
- 「DLP-A171 OC-N カードのスレッシュホールドの設定変更」(p.18-56)
- 「DLP-A459 OC-192 および MRC-12 カードの光スレッシュホールド設定の変更」(p.21-42)
- 「DLP-A172 SDH への光ポートの変更」(p.18-58)

**ステップ 4** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A118 AIC-I カードの設定変更

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | この手順では、バックプレーンに配線された外部デバイスからの入力を受信したり、この外部デバイスへ出力を送信するように、Alarm Interface Controller-International (AIC-I) カードをプロビジョニングします (外部アラームや外部制御、または環境アラームといいます)。オーダーワイヤ設定も変更します。 |
| 工具 / 機器      | なし   |
| 事前準備手順       | 「NTP-A258 AIC-I カードへの外部アラームおよび制御のプロビジョニング」 (p.8-12)<br><br>「DLP-A83 オーダーワイヤのプロビジョニング」 (p.17-101)   |
| 必須 / 適宜      | 適宜   |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート   |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル   |

**ステップ 1** AIC-I カードの設定を変更するノードで、「DLP-A60 CTC へのログイン」 (p.17-79) を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

**ステップ 2** 必要に応じて「NTP-A108 データベースのバックアップ」 (p.15-6) を行います。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A208 AIC-I カードを使用した外部アラームの変更」 (p.19-9)
- 「DLP-A209 AIC-I カードを使用した外部制御の変更」 (p.19-10)
- 「DLP-A210 AIC-I カード オーダーワイヤ設定の変更」 (p.19-11)

**ステップ 4** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」 (p.15-6) を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A91 DS-1 および DS-3 保護カードの 1:1 保護から 1:N 保護へのアップグレード

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | この手順では、DS-1 および DS-3 保護カードを 1:1 保護から 1:N 保護に変換します。 |
| 工具 / 機器      | なし   |
| 事前準備手順       | 「DLP-A71 1:1 保護グループの作成」(p.17-94)                   |
| 必須 / 適宜      | 適宜   |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート                                       |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル                                     |

**ステップ 1** DS-1 カードと DS-3 カードを 1:1 保護から 1:N 保護に変更するノードで、「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

**ステップ 2** 必要に応じて「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。

**ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A176 DS1-14 カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換」(p.18-59)
- 「DLP-A177 DS3-12 カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換」(p.18-61)
- 「DLP-A178 DS3-12E カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換」(p.18-63)
- 「DLP-A448 DS3XM-6 カードまたは DS3XM-12 カードの 1:1 保護から 1:N 保護への変換」(p.21-33)

**ステップ 4** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A315 FC\_MR-4 カードを対象にしたポート設定と PM パラメータ スレッシュホールドの変更

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | この手順では、FC_MR-4 カードを含む Storage Area Network (SAN; ストレージ エリア ネットワーク) カードの回線およびスレッシュホールド設定を変更します。 |
| 工具 / 機器      | なし   |
| 事前準備手順       | 「NTP-A274 FC_MR-4 カードの取り付け」(p.2-15)  |
| 必須 / 適宜      | 適宜   |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート   |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル   |



### 注意

カードの設定変更は、サービスに影響することがあります。すべての変更は、スケジュールされた保守時間中に行ってください。

- ステップ 1** OC-N カードの設定を変更するノードで、「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を行います。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。
- ステップ 2** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。
- ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。
- 「DLP-A438 FC\_MR-4 カードにある汎用ポートの設定変更」(p.21-19)
  - 「DLP-A439 FC\_MR-4 カードにあるポートの距離延長設定の変更」(p.21-21)
  - 「DLP-A440 FC\_MR-4 カードにあるポートの拡張 FC/FICON 設定の変更」(p.21-23)
  - 「DLP-A357 FC\_MR-4 RMON アラーム スレッシュホールドの作成」(p.20-51)
  - 「DLP-A358 FC\_MR-4 RMON アラーム スレッシュホールドの削除」(p.20-55)
- ステップ 4** 必要に応じて、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を行います。
- 終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A321 カードまたは PPM のサービス状態の変更

|              |  |
|--------------|--|
| 目的           | この手順では、カードまたはポートのサービス状態を変更します。この情報は自律生成され、ポートの全体的な状態を表します。 |
| 工具 / 機器      | なし   |
| 事前準備手順       | <a href="#">第 2 章「カードおよび光ファイバケーブルの取り付け」</a>                |
| 必須 / 適宜      | 適宜   |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート   |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル   |



(注) OC192-XFP および MRC-12 カードでは、PPM は光ポートと同等です。

- ステップ 1** カードのサービス状態を変更するノードで、「[DLP-A60 CTC へのログイン](#)」(p.17-79) を行います。
- ステップ 2** ノード ビューで、**Inventory** タブをクリックします。
- ステップ 3** 変更するカードまたは PPM の Admin State ドロップダウン リストから、Admin 状態を選択します。選択肢は、**IS** (In-Service) または **OOS,MT** (Out-of-Service,Maintenance) です。
- ステップ 4** **Apply** をクリックします。
- ステップ 5** カードの状態が現在の状態から変更できないことを示すエラー メッセージが表示されたら、**OK** をクリックします。

選択した Admin State に応じて、カードまたはポート /PPM は異なるサービス状態に遷移します。サービス状態およびカード状態の遷移については、『*Cisco ONS 15454 Reference Manual*』の付録「Administrative and Service States」を参照してください。

終了：この手順は、これで完了です。

## NTP-A322 PPM の管理

|              |   |
|--------------|---|
| 目的           | この手順では、MRC-12 および OC192-XFP カードを対象とした PPM のプロビジョニング、変更、および削除を行います (OC-192XFP はシングルレート PPM であるため、削除のみを実行できます)。                               |
| 工具 / 機器      | なし  |
| 事前準備手順       | 「 <a href="#">DLP-A461 SFP または XFP デバイスの事前プロビジョニング</a> 」 (p.21-44) または<br>「 <a href="#">DLP-A469 GBIC または SFP/XFP デバイスの取り付け</a> 」 (p.21-62) |
| 必須 / 適宜      | 適宜  |
| オンサイト / リモート | オンサイトまたはリモート  |
| セキュリティ レベル   | プロビジョニング以上のレベル  |

- 
- ステップ 1** PPM のプロビジョニング、変更、または削除を行うノードで「[DLP-A60 CTC へのログイン](#)」 (p.17-79) を行います。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。
- ステップ 2** View メニューから **Go to Network View** を選択します。
- ステップ 3** Alarms タブをクリックします。
- アラーム フィルタの機能がオフであることを確認します。必要に応じて、「[DLP-A227 アラーム フィルタリングのディセーブル化](#)」 (p.19-24) を参照してください。
  - 説明のつかない状態がネットワーク上に表示されていないことを確認します。表示されている場合は、作業を進める前に解決してください。『*Cisco ONS 15454 Troubleshooting Guide*』を参照してください。
  - 「[DLP-A532 CTC データのエクスポート](#)」 (p.22-35) を行い、アラームおよび状態の情報をエクスポートします。
- ステップ 4** 必要に応じて、「[DLP-A444 MRC-12 カードでの PPM のプロビジョニング](#)」 (p.21-29) を行います。シングルレート PPM ではプロビジョニングは不要です。
- ステップ 5** 必要に応じて「[DLP-A445 MRC-12 カードでの光回線レートのプロビジョニング](#)」 (p.21-30) を行い、OC-3、OC-12、または OC-48 回線レートをマルチレート PPM に割り当てます。
- ステップ 6** 必要に応じて「[DLP-A446 MRC-12 カードでの光回線レートの変更](#)」 (p.21-31) を行い、マルチレート PPM の回線レートを変更します。シングルレート PPM の光回線レートは変更できません。
- ステップ 7** 必要に応じて、「[DLP-A447 MRC-12 または OC192-XFP カードからの PPM の削除](#)」 (p.21-32) を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

---